



保育所分会役員の学習会を開催しました！！



【自分の意見を出し合っています】

2016年8月19日（金）18時～601会議室にて、保育所分会役員学習会を開催しました。15名で3グループに分かれてワークショップ形式で、『これからの公立保育所の役割』をテーマにグループ討議を行いました。その中で公立保育所の役割について考えながら、これからの課題についても意見を出し合いました。また「どうしたら、これらの課題が解決できるのか？」というところも考えていきました。グループ討議後、みんなで見て

回りながら共感した意見に対して、いいねシールを貼って意見交換をしました。最後に、高野執行委員より「今日の学習会を通して皆さんからの色々な意見を聞くことができ、前向きな気持ちを持つ事ができました。そして、新しい仲間が増えることでさらに元気が出て、公立保育所としての役割を果たしていくことができると思います。この前向きな気持ちを持って、仲間を増やすために人員確保の取り組みをこれからもみんなで進めていきましょう。」と挨拶がありました。



【他のグループの意見を見て、いいねシールを貼っています】

高い専門性を身につける ～保育士に求められている役割、専門性は

重視されている～

- ・食生活の多様化の現代、子どもたちの食を守っていくという重要性も求められている。その為に自園給食を行えるよう調理員の採用は絶対が必要だと思う。
- ・多様な保育ニーズ、子育て支援ニーズに応え、マネジメントできる人材の確保を要請していく。
- ・就学前の保育が充実される(日々ゆとりある保育をしていく)為には、今の配置基準の見直しも必要である。
- ・障害児保育の充実、発達が気になる子どもの育ちを保障していく。
- ・保健師や関係機関と密に連携をとり、ざっくばらんに話ができる場をもちたい。
- ・専門性を身につけたい、勉強したいという思いはあるが、日頃の生活の中でしなくてはいけない事が多く、目の前のことに追われている現状である。

保護者、家庭支援 ～子育てについて伝えていく技術を身につけたい～

- ・保護者支援、親育てとして、子どもの生活リズムや基本的な生活習慣など知らせるなど、良いことばかりでなく、時には厳しいことも言う。
- ・公立保育所だから、子ども目線の保育ができ子どものために大事な事を保護者に伝えることができる。
- ・子どものかかわらしさを伝えたい。保護者にわかってもらえるような声かけ、伝え方の工夫や技術を身につけたい。

もやもやしていること ～日々自問自答しながら保育現場にいる私たち～

- ・一人ひとりが大切にされる保育を理想としているが、実際の生活の中ではどうだろうか？
- ・子どもにとって一番必要なことは何なのか？
- ・保育サービス充実が親目線になっていないか・・・子どもの気持ちが置き去りにされているのでは？
- ・事務が集約されていると保育に専念できる。

今回は分会役員での学習会でしたが、今後は三次市の保育を引き続き守っていくため、公立保育所としての役割とは何であるかの課題を、保育所分会全体で学習をさらに深めていきたいと思っています。

